

ルワンダで義足を提供する ワンラブ講演会(8/11@茅ヶ崎)



日付：8月11日(月)

時間：14:00～15:30 (開場13:45)

場所：まちのクリエイティブポケット
totsukuru (茅ヶ崎駅徒歩8分)

〒253-0052 神奈川県茅ヶ崎市幸町7-2 6
TSUBANA B棟 104

参加申し込みについて

会場参加費：1000円

※参加費は全てムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトの活動費になります

オンライン参加費：無料

※お申し込み後ZoomURLを案内します
お問い合わせ：s-ohashi@ngo-jvc.net (大橋)



お申し込みは[こちら](#)！



会場の外見



ガテラ・ルダシングワ

1954年、ルワンダ共和国生まれ。幼い頃、医療ミスにより右足が麻痺し、障害を負う。

1996年にNGO「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」を設立。義肢装具の製作や、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及など、障害者支援の活動を精力的に進めている。

ルダシングワ (吉田) 真美

1963年、神奈川県茅ヶ崎市生まれ。1989年、ケニアでガテラと出会い、義肢装具士になることを決意。

その後、横浜の義肢製作所で修業を積み、ルワンダへ渡る。ルワンダ在住29年。2018年に読売国際協力賞、2021年に吉川英治文化賞を受賞。



主催者メッセージ

1994年のルワンダ虐殺に際して、日本国際ボランティアセンター (JVC) も緊急人道支援を行いました。その2年後である1996年末、私自身も現地に向かい、JVCが支援した女性相互扶助団体の代表者に会いに行きました。首都キガリの坂道を下っているときに、当時創設後間もないNGO「ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」の義肢センターの脇を通りました。

現在、茅ヶ崎出身の真美さんとガテラさんが日本を訪れて活動報告と資金集めを行っています。

少しでも支援したいと思い、また報告の映像記録も残したいと思い、このイベントを立ち上げました。

熊岡路矢

主催：「勝手にワンラブを応援する会@茅ヶ崎」 (熊岡路矢、三澤拓哉、大橋怜史ほか)

日本国際ボランティアセンター代表理事

広報協力：特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (JVC)

ワンラブの活動にご賛同いただける方は ゆうちょ銀行 ○二九 (ゼロニキュウ) 店 当座 0066497
ご寄付も受け付けております ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト